



# クローバー動物病院

## だより 第21号



今回は、うさぎ②についてです。

# うさぎ②

今回は、うさぎの食餌についてです。うさぎでは、食べ物と病気の間に関係があり、食餌の内容が原因で病気が起こることがあります。逆に食餌の内容に気をつけることで多くの病気を予防することができます。特に歯の病気や胃腸の病気などは、食餌と密接な関係がありますし、尿結石なども食餌内容に大きく影響される病気です。

## 1 うさぎの消化生理の特徴

うさぎは母乳の他には動物質は食べない完全草食性の動物です。消化管は非常に長く、特に盲腸は巨大であり、この盲腸の中の細菌叢が植物の繊維を消化しているのです。盲腸では通常の便と『盲腸便』と呼ばれる食糞用の便とを作り分けており、盲腸便は24時間サイクルで排泄され、うさぎは肛門に直接口をつけてこれを食べます。

## 2 うさぎの食べ物に関する習性

野生うさぎは体調に合わせて食べ物を選ぶと考えられていますが、飼われているうさぎは一般に好きなものの順に食べるのが普通で、健康のために自己管理する能力を残しているうさぎはまれです。



## 5 うさぎの臨床専門医のおすすめ食餌

主食は、ソフトタイプのラビットフードと乾草で比率は、グラム数で1対1ないし2対1。ペレットの量は体重の1.5%くらいです。ペレットが1.5%、乾草が1.5%で計3%くらいになって、一定した体重がえられると思われれます。乾草は、チモシーでもアルファルファでもその他のものでもOKです。副食としては多くの種類の生野菜（豆類、イモ類を除く）を少量ずつ与えてください。サプリメントは病気などで獣医師の指示がある場合を除き与えるべきではないと思われれます。

うさぎの健康維持と病気の予防には食事管理が重要であり、これはひとえに飼い主さんの判断ひとつにかかっているのです。ショップに目新しいおやつが売られていて、買ってあげたいと思っても、それがあなたのうさぎに与えてよいものか一度考えてみてください。



ラビットフードと乾草とはおおまかにいって同じ程度のカロリーを含んでいます。十分な繊維量を得るには、ラビットフードと乾草を、グラム数で1対1の比率になるように与えるのが理想的ですが、子うさぎの頃にあまり乾草を食べなかった子は、この比率ではなかなか食べてくれません。しかし、太り気味な子なら話は別です。肥満対策ならば、通常ラビットフード対乾草がグラム数で2対1、肥満の著しい場合は1対1を目標に与えてください。

乾草の種類ですが、一般論として、肥満の子にはイネ科乾草、痩せている子や病後回復期や成長期の子には高タンパク質のマメ科乾草を用いるのが良いと思われます。

## 4 炭水化物摂取の注意

飼われているうさぎが与えられている可能性のあるもとして、穀類（大麦、小麦、コーンなど）やその製品（パン、麺類、クラッカー、シリアルなど）があげられると思います。また市販のおやつ類も小麦粉を主原料とするものが多く、主成分はでんぷんです。

でんぷんが多く繊維が少ないと、病原微生物が増殖し、腸毒素血症に陥るおいそれがあるといわれています。砂糖菓子やクラッカー、パン、うさぎ用おやつを多量に与えたときにも消化管異常をきたすことがあり、腸毒素血症が進行すると、急性鼓脹症（おなかにガスがたまった状態）を伴い、中には急死する子もいます。



飼われているうさぎの好みには個体差がありますが、多くは、①市販のおやつ、②野菜、③ペレットフード、④乾草の順に好きなのです。

うさぎは幼時に食べた経験のないものを大人になってから食べないことが多いため、将来的に味を覚えさせておいた方がよいものは幼時より与え、食べ物として認識させておく必要があります。

また、フードを急に切り替えると食べる量が極端に減り、中には全く食べなくなる個体もありますので、フードの種類を変えようと思うときには新旧のフードを混ぜて徐々に切り替えることが必要だと思います。フードに限らずどんな場合にも食餌の急激な変更は避けるべきであり、これは盲腸内の常在細菌が作っている盲腸内環境を急激に変化させる可能性があり、これが消化機能障害の引き金となるおそれがあるからです。

### 3 繊維の重要性と繊維不足の害

草食のうさぎにとって植物の繊維は消化管の恒常性を保つために不可欠なものであるといわれています。繊維は盲腸内細菌の栄養源となっており、そして繊維の発酵により産生される脂肪酸は有害微生物の繁殖を防いでいるといわれています。また繊維は蠕動（ぜんどう）運動（腸の運動）を促進し、消化管の通過速度を速める作用があります。

繊維不足は腸の運動を弱めるため、腸炎が発生しやすくなります。また、繊維不足は過剰なグルーミングを起こさせるとともに、上部消化管に毛が滞りやすい要因となるため、胃毛球症の発生を増加させることが明らかにされています。また、低繊維食は子うさぎの成長率を低下させます。